

# 図書館だより

## 西生田図書館開館20周年記念特集号

### 目次

二十周年の節目にあたって	——島崎 恒藏	1
西生田図書館開館20周年にあたって	——濱口 都紀	2
西生田図書館開館20周年に寄せて	——高橋 行徳	4
西生田図書館開館20周年に寄せて—多様な学びの場へ—	——鳥居登志子	4
西生田図書館開館の頃	——赤塚 愛子	5
日本女子大学西生田図書館関係略年表(2000.10~2010.9)	——濱口 都紀	6
平成22年度夏期スクーリング開館について	——中澤 啓子	8



西生田図書館正面玄関

## 二十周年の節目にあたって

島崎 恒藏

西生田図書館は、人間社会学部が1990（平成2）年4月に西生田キャンパスに開設されたのを機に新設され、この度、開館20周年を迎えることになった。西生田図書館の開館は、大学の図書館を考えると、大きな変化をもたらしたといえよう。最も大きな変化は、これまでの1キャンパス体制の図書館から、大学初の目白、西生田の2キャンパス体制の図書館へ移行したことである。もともと西生田図書館には目白図書館の分館としての位置づけはなく、人間社会学部としてのニーズに応えるべく、関係蔵書を移管するとともに、必要性の高い図書、雑誌、資料類が収集されてきたわけで、必然的に社会科学分野に重点が置かれた図書館といえる。建物としても目白図書館とは異なり、研究室棟（90年館A棟）と直接連結した構造となっており、またカーペット敷きで窓を大きく取り、利用者に開放的な空間を提供するよう設計されている点にも特徴がある。

図書資料購入経費は、西生田図書館が全体の3分の1を占め、現在、図書館全体の蔵書（約79万冊）のうち、23%が西生田図書館の所蔵となっていて、10年前より4ポイントほど数値を上げている。また電子ジャーナル種数では、ほぼ目白図書館と肩を並べている状況である。

2キャンパス体制の図書館では、利用者へのサービスの均質化は重要な課題である。その点から能率的な図書館の管理システムは必須であり、大学においても西生田図書館の開館に合わせて、閲覧管理システム、図書管理システム、雑誌管理システムを包含するトータルシステムを稼働させてきた。その後、さらにサービス拡充も積極的に進められ、NIIシステムへの接続、ILLによる相互利用サービス、Web対応OPAC、利用状況照会などの機能が利用者提供されている。このような図書館システムの構築は、図書館業務の効率化や利用者サービスの観点から、極めて意味は大きかった。しかし最近、図書館を取り巻く環境が著しく変化し、さらに発展性のある図書館システムの導入が要望されるようになった。これらの声は結実して、本年度を準備期間とし、来年4月の運用開始に向けて、現在、新システム稼働への準備が着々と進められている。

西生田図書館と目白図書館は、有機的な関係を持つ相互補完的な図書館であり、高機能な図書館システムの運用は、双方の図書館サービスの均質化や利便性を一層高めるものと期待される。言うまでもなく、図書館業務は館員の地道な作業によって支えられているわけで、特に本年度は上述の新システム移行への負担が館員の肩に重くかかっている。この点もご理解いただくと有難い。

（図書館長・被服学科教授）

## 西生田図書館開館二十周年にあたって

濱口 都紀

西生田図書館は、2010（H22）年4月に開設20周年を迎えた。今から10年前、開設10周年を記念して発行された『図書館だより』No.109（2000年11月25日発行）には、10年間の蔵書冊数や入館者数、貸出冊数の変化の経緯や、当時の館長、利用者を代表する皆さんの今後への期待が述べられている。「発展と充実」というキーワードでくれそうな、初期ならではの苦労があった開設後の10年に比べ、この10年は統計上は安定しつつもさまざまな変化があった。今回は、20年間を通じた統計を参照しながら開設後の歩みを振り返り、今後の展望についても述べていきたい。

## ○開館日数・時間の推移

開館時間の推移について、上記の『図書館だより』No.109には「段階を踏みながら少しずつ延長してきました。（中略）後期よりようやく週5回（月～金）夜間開館を実施できるようになりました」との記載がある。

開設当時、授業がある期間の月～金曜日の開館時間は9:30～17:20（週1回、木曜日のみ19:00まで）であった。開設3年目の1992（H4）年には、19時までの開館が週2回に増えた。また、4学年が揃う完成年度にあたる翌1993（H5）年度には週3回、更に1995（H7）年度からは木曜日を除く週4回となった。この体制はしばらく続き、上記のように土日を除く週5日の夜間開館を実現したのは2000（H12）年後期からとなる。この間、ずっと9時半であった開館時刻を、1999（H11）年に授業開始と同じ9時10分からとしている。

長期休暇期間中についても、初年度の夏はわずかに週2回午後のみ、13:00～16:00までという限られた時間帯での開館であった。翌年には、10:00～17:20に時間を拡大したものの週2回の開館は変わらず、その後開館時間の拡大をはきみながら週3回開館する状況が長く続いたが、いよいよ今年から、7～9月を通じて月～金、9:30～18:00の開館が実現できた。

また、この20年間、「わずかずつでも開館する時間を拡張しよう」とした結果、開館時間が期間や曜日によって異なる、例えば同じ長期休暇期間であっても夏と春で時間帯が異なるという、利用する側からはわかりにくい状況を招いてしまっていたが、今年度からは複雑化した開館時間を整理し、パターンを集約することができた。

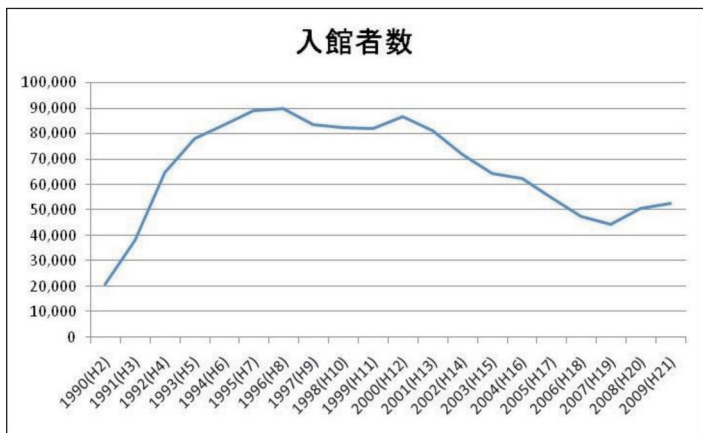
開館時間や期間を延長してほしいとの希望は、初期から現在に至るまで一貫して寄せられ続けている。今年4月、長らく19時までであった平常期の閉館時間を20時までに延長することができた。これにより、4月～7月の閉館30分前在館者数の平均は、前年度の10.33人から5.96人まで減少した。また、表には現れていないが、今年度の開館日数は267日に達する予定である。今後、後期の利用状況なども分析した上で、将来の開館時間・期間について更に検討していく予定である。



## ○入館者数・貸出冊数について

年間の総入館者数および貸出冊数は、開設時から完成年次まで急激に伸び、その後はゆるやかな増減があった後、2001（H13）年から減少に転じた。この時期はオンラインジャーナル等、電子媒体資料が充実し始めた時期と重なる。図書館のホームページでオンラインジャーナルの案内を開始したのは1998（H10）年であり、来館しなくても一定の資料をパソコンから閲覧できるようになるサービスが定着した。利用者が調べ物をする際の行動が従来とは変わりはじめた時期でもある。

このような変化にあわせ、図書館でもHPで提供するサービスの充実を図ってはきたものの、入館者数や貸出冊数の減は憂慮すべき問題であった。2006（H18）年には大規模な利用者アンケートを実施し、何が図書館に求められているかの把握をはかった。施設・設備や蔵書の充実、開館時間他、さまざまな角度からご意見が寄せられ、順次対応を実施している。また、多様化するニーズに対応するため少人数制の検索講習会、先生方との協力により学科やゼミ単位で行う講習会にも力を入れた。この結果、入館者数、貸出冊数とも2008（H20）年に増加に転じ、今年度もこれまでのところ昨年度比で増加傾向にある。



○玄関ホール展示

図書館の入口を入って、入館ゲートを通るまでのスペースに展示用のケースを設置したのは2006（H18）年のことである。その後、所蔵する貴重書の展示や時事的な展示、新生を迎えるための展示等を行ってきた。人間社会学部開設20周年を迎える今年は春に記念の展示を行ったが、引き続き開設の年である1990年をふり返る展示を計画中である。

○今後の課題

10年前の記事にもそろそろ書架スペースが不足してきたとの記述がある。その後の10年、館内のさまざまな場所に少しずつ書架を増設して、かなり手狭な印象とはなったがなんとか増え続ける資料を収めるべく工夫を重ねてきた。1995（H7）年からは、出版年が古く利用が稀な資料を中心に、わずがずつではあるが一部の図書を外部倉庫に預けている。今後、館内ではこれ以上の収容が見込めないため、早急に対策が必要である。

入館者数の項でも触れたとおり、利用のされ方については既に変化が現れている。これを受けて図書館でも、Web上で提供するサービスの充実をはかっており、来年度の図書館システム更改時には、新たな機能が加わる予定である。今後は、学習・研究サポートという大学図書館の役割に立ち返り、どのようなサービスが期待されているかを先取りして提供していかなければならない。

図書館は開設時より、目白・西生田両キャンパスの利用者にできるだけ均質なサービスを提供することを目指してきたが、なかなか理想に追いつけず、利用者の皆さんにはご迷惑をおかけした事もあるかと思う。これで充分だと言い切れる状況では未だないが、近年は少しずつ環境が整ってきたと感じている。今後とも図書館を十分にご活用いただくため、努力していく所存である。

(西生田図書館課長)

## 西生田図書館開館二十周年に寄せて

高橋 行徳

西生田図書館の開館二十周年を、西生田キャンパスの開設二十周年と共に、心からお祝い申し上げます。当時をふり返って思い出しますのは、前年の秋にかなり大部なりストを渡されて、どれにしようかと迷いながら人文科学系の書籍を選んだことです。本を手にする学生を思い浮かべ、時間をかけて選択しました。あれから二十年がたち、蔵書もずいぶん増えたように思います。基本的な図書はもちろんのこと、特殊な書物も書架に置いてあり、少しびっくりした経験があります。

しかし一学部用の図書館が、あらゆる分野の書籍をそろえることは不可能です。当然図書を絞り込まなければなりません。「人間社会学部」にぜひとも必要な書籍は、たとえ高価であっても購入し、学部の性格と必ずしも合致しない本は見送らざるを得ません。このような選択基準があってこそ、学部にふさわしい図書館になっていくのだと思います。

ただ時にはまったく場違いな書籍が必要になることがあります。私の最近の例で言いますと、戦時下において召集を免除された職種として、徴兵保険会社の内勤務者も入るのかどうか、調べる必要がありました。これは書名も著者もわからず、そもそも私の求めるような本が存在するかどうか不明でした。このような場合私は迷わず、いつものように「参考係」へ向かいます。館員は内容を聞いて、いくつもの検索を行なってくれました。しかし今回は思わしい成果が得られず、諦めていたところに、後日電話で参考になるような図書が見つかったという連絡を受けました。この時私は、職務に忠実な館員に感謝すると同時に、「参考係」の充実こそが、小さな図書館でも大きな図書館を凌駕できる方策ではないかと考えました。これはまた、図書館を血の通った温かみのある施設にし、利用者との交流を一層密にすることになると思います。(文化学科教授)

## 西生田図書館開館20周年に寄せて—多様な学びの場へ—

鳥居 登志子

今年で開館20周年を迎えた西生田図書館では、当初からカード目録に替わりオンラインネットワークによる検索システムが導入された。そのため、多少の戸惑いを感じる教員もいたが、今では皆がすっかり馴染んで快適に利用している。このシステムのもつメリットの一つは、オンラインジャーナルなどによって、検索した文献を素早く手に入れることが可能になった点にあるのではなかろうか。文献複写を外部に依頼してその到着を待つ時間も楽しいが、即座に必要な部分を読むことができるありがたみは極めて大きく、私はそれを絶えず実感してきた。

ところで、西生田キャンパスでは多くの学生がB棟1階、水田記念学生ホールを学びの場としても活用しているように思われる。明るい食堂の大きな机の上に本を広げて書きものをする姿、少し離れた処では討論をしながらグループ制作をしている一群の姿も見える。「学科の学生控室がなくて気の毒」と言う教員もいるが、学生の様子は自然で、快適そうでもある。このような情景に日々接するなかで私が強く感じていたのは、静かに過ごす図書館とは別に、使い勝手のよい「学びと交流の場」の必要性であった。

折しも私は、8月末にスイス連邦工科大学ローザンヌ校で開催された視覚研究の学会に参加する機会を得た。記念シンポジウムと特別講演の会場は、このキャンパスのトータルであり、核でもあるRolex Learning Centerである。中に入ると、そこには図書館、情報センター、自習空間、研究空間、レストラン、カフェなどが、水平と垂直の仕切りがないワンルーム内の緩やかな「丘」や「谷」に配置されていた。文字通り、多目的建造物である。大きな窓ガラスからは光が溢れ、高い場所からは外のアルプスやレマン湖などが見える。「分散した各学科の建物で勉強する学生が同じ場所に集い、情報交換や研究を行うハイレベルの交流の場」という学長の期待を、この20,000 m<sup>2</sup>におよぶ一続きの空間は見事に実現しているように思われ、深い感慨を覚えた。革新的な概念に裏打ちされたこのLearning Centerの設計が、本学の卒業生妹島和世氏と西沢立衛氏の共同建築事務所SANAAによるものであることを、私は帰国後に知ったのである。(心理学科教授)

## 西生田図書館開館の頃

赤塚 愛子

今を去る20年前、1990年4月私たちは西生田図書館に配属された。ベテランの今津、司書2年目の吉原、新人の赤塚、の史学科卒業生トリオであった。

新しい図書館は、資料も書架も少なく見通しが良く私たちの選んだファブリックも真新しく、日の光が入り明るくて可愛い雰囲気だった。4月7日には図書館ホールに三綱領が掲示されるなど、準備は少しずつ進んでいた。開館は4月10日の晴れた日で目白から7人の応援をうけて館内案内を行った。当時学生は1年生のみであったが、4月12日の授業開始と同時に週一回の夜間開館を開始した。その後も開館しながら図書館を整えていく日々が続いていくのであるが、人手不足は当然のことで、図書資料と文部省（当時）へ提出したリストとの読み合わせ等で継続的に目白図書館から手伝いに来てもらっていた。病人が出た時には急遽目白から応援に来てもらったことなどが当時の日誌に記されている。

モットーとして「目白と西生田2つの図書館は有機的に1つの図書館」を掲げていたが、上村事務主任は目白・西生田間を1日に2往復される日があるなど厳しい面もあった。

図書館は前年の秋に機械化を実施し、西生田は全資料のデータを機械入力していたが、カウンター業務を主体としていたため至急本を除き整理業務は目白図書館に依頼していた。

徐々に臨時勤務の杉本、大沼、五十嵐各氏が加わり、夏休み前にはカウンター二人体制を整えられるようになった。日誌を読み返すと、毎日のように物品の搬入、機械の故障、その他アクシデントが起き続けていたことがわかる。2つの図書館を繋げての業務は全く初めてのことで、更に仕事に不馴れな新人二人を抱えたベテラン今津さんのご負担は如何ばかりであったかと今更ながらに思うのである。1年生だけのキャンパスは目白と雰囲気が異なり、新しい場所へ来る学生はフロンティアスピリットを持っているのだと感じたものである。

多忙な日々であった。しかし登校時に様々な草花や木々に囲まれ鳥の鳴き声に励まされると自然と気持ちが朗かになり、朝の話題はその日に開いた草花や鳥の名前の確認になっていた。生命力溢れるキャンパスの思い出は朝の光のように清々しいものである。

後悔の念とともに思い出すのは図書館の角に生えていた松である。90年の春まだ浅い日にその10cmに満たない実生の松を見つけた時、この松がいずれ見上げる程に成長し、その姿に図書館の歴史を重ねて感慨に耽る日が来るだろうと思った。その後、松は図書館の傍らで我々と共に時を過ごし今年の春20の年輪を刻み、丈もとうに2階へ届いていた。丁度西生田の中庭整備が行われていた時である。私はふと図書館の松は大丈夫かと気になったが、大方の木は残すらしいとの噂もあって、松の心配はいらないと独り合点していた。

4月に中庭が公開されると松の姿がなかった。しかし、木は場所を移して植えてあると聞きほっと胸をなでおろしたのだった。夏の終わりにこの文を書くことになり西生田総務課に松のことを問い合わせた結果、松が処分されたことを知ったのである。図書館の松は西生田キャンパスと同時に誕生したことを知る人は少ないであろう。松の生い立ちを知る私が残して欲しいと言うべきであった。せめてこの拙文で、20年の間図書館とともに成長した松の思い出を残しておきたい。

写真は1990年6月2日の開学式に行われた図書館案内終了後に目白より応援の皆様と。撮影は今津さん。  
(館員・西生田図書館)



## 日本女子大学西生田図書館関係略年表 (2000.10~2010.9)

<b>2000</b> <b>(平成12)年度</b> 開館日数：233日 入館者数：86,746人	11/6 教養特別講義Ⅱ講師の著作展示開始。1/31 菅菅小学校教員、大学見学の一環で図書館見学。2/19 BDS装置故障(修理完了3/16)。2/22 電動式集密書架の一部に鍵を設置。3/22 1階にマイクロリーダープリンター設置。3/23 2階 OPAC用電源増設工事。
<b>2001</b> <b>(平成13)年度</b> 開館日数：229日 入館者数：81,445人	4/4 開館、貸出開始。4/4 5大学学生交流(f-Campus)による相互利用開始。4/5 新入生オリエンテーション(スライド上映、西生田図書館案内)。4/6 新入生オリエンテーション(図書館長の話：出淵敬子館長)。4/18 心理学科資料検索講習会。5/1 事務用端末(24台)交換。5/2 ネットワーク変更(VTSS LiblinkからNTT専用回線へ、5月7日まで)。5/16 新入生向けOPAC講習会(6/22まで7回開催)。6/5 iLiswave CAT、ILL設定作業 6/6まで。8/1 蔵書点検(和3,4門,洋参考図書,8/10まで)。9/11 台風15号により、1階に床上浸水。10/5 1階AVコーナーにテレビデオ1台、ビデオ1台設置。11/17 2階空調機械室より暖房機の水漏れ。3/27 入館システム機器設置(3/28まで)。3/27 BDS装置新機種(M-3801)に変更設置。
<b>2002</b> <b>(平成14)年度</b> 開館日数：239日 入館者数：71,697人	4/3 開館、貸出開始。4/4 新大学院生オリエンテーション(4/18にも実施)。4/5 新入生オリエンテーション(スライド上映、西生田図書館案内)。4/6 新入生オリエンテーション(図書館長の話：出淵館長)。4/22 社会福祉学科資料検索ガイダンス(以後、心理学科1回)。5/1 貸出時間、施設の利用時間が閉館15分前までに。5/7 入館システム稼働開始。5/11 土曜日の開館時間17時まで延長。5/20 OPAC講習会(6/7まで18回開催)。7/26 オープンキャンパス図書館見学、115名来館。8/1 蔵書点検(和大型本,洋0~9門,和参考図書,8/8まで)。8/12 OPAC用PC5台,事務用ノートPC1台受領。12/10 1階AVコーナーにDVDプレーヤーを設置。1/8 AV資料用収納棚2台納品。1/28 雑誌「国華」収納用キャビネット2台を目白より移管。3/12 利用者用カラー複写機(1台),複写機(2台)機種変更。
<b>2003</b> <b>(平成15)年度</b> 開館日数：242日 入館者数：64,179人	4/1 新図書館長、新海邦治教授就任。4/3 開館、貸出開始、新大学院生オリエンテーション実施。4/5 新入生オリエンテーション(スライド上映、西生田図書館案内)。4/6 新入生オリエンテーション(図書館長の話：新海館長)。5/7 心理学科資料検索ガイダンス。5/16 資料検索講習会(6/22まで7回開催)。6/2 アフガニスタン関係資料展示開始。7/26 オープンキャンパス図書館見学、112名来館。8/1 蔵書点検(和0~2,8,9門,洋大型本,洋参考図書,8/13まで)。1/26 アフガニスタン女子教育支援プログラムで来日中の研修生、図書館見学。
<b>2004</b> <b>(平成16)年度</b> 開館日数：237日 入館者数：62,425人	4/1 2階カウンターにPC2台設置。4/3 開館、貸出開始。4/6 新入生オリエンテーション(スライド上映、西生田図書館案内)。4/7 新入生オリエンテーション(図書館長の話：新海館長)。4/16 新大学院生オリエンテーション(社会福祉学専攻)。5/12 心理学科資料検索ガイダンス。5/17 資料検索講習会(6/4まで12回開催)。6/18 私立大学図書館協会東地区部会2004年度総会、館長会、研究講演会開催 図書館見学者112名。7/21 西生田学生自治会より、要望書受理(8/27に回答)。7/25 オープンキャンパス図書館見学、176名来館。8/2 蔵書点検(和4~7門,洋0~5門,和参考図書,8/9まで)。10/9 台風のため12時で閉館。10/20 台風のため17時で閉館。1/6 西生田学生自治会より要望書受理(1/25に回答)。1/26 アフガニスタン女子教育支援プロジェクト参加者6名、図書館見学。3/16 1階AVコーナーにコンピュータセンター貸与ノートパソコン利用のための情報コンセント等設置工事。
<b>2005</b> <b>(平成17)年度</b> 開館日数：240日 入館者数：54,768人	4/4 開館、貸出開始。4/5 新入生オリエンテーション(スライド上映)。4/6 新入生オリエンテーション(西生田図書館案内)。4/7 新入生オリエンテーション(図書館長の話：新海館長)。4/15 1階雑誌新刊展示棚に学内刊行物コーナーを設置。4/18 コンピュータセンター貸与ノートパソコン接続用情報コンセント利用開始。5/11 心理学科資料検索ガイダンス。5/16 不要図書リサイクルコーナー第1回実施。5/16 資料検索講習会(6/3まで7回開催)。7/11 キャンパス間ネットワークトラブルのためシステム停止(15時~深夜)。7/21 西生田学生自治会より要望書受理(10/3に回答)。7/26 台風のため15時で閉館。7/31 オープンキャンパス図書館見学、113名来館。8/26 3階O.S.棚付近で漏水発生。9/6 1階雑誌書架からドライエリア近くの閲覧席までの床で漏水発生。9/15 OPAC端末更改。10/17 キャンパス間ネットワークトラブルのためシステム停止、回復後も10/27頃まで不調。1/5 館内にご意見箱を設置。2/21 蔵書点検(和3門,2/27まで)。
<b>2006</b> <b>(平成18)年度</b>	4/1 新図書館長、西山力也教授就任。4/4 開館(閲覧のみ)。4/5 貸出開始。4/5 新入生オリエンテーション(スライド上映)。4/6 新入生オリエンテーション(西生田図書館案内)。4/7 新入生オリエンテーション(図書館長の話：西山館長)。5/10 玄関ホールで漏水。5/17

<p>開館日数：242日 入館者数：47,489人</p>	<p>心理学科資料検索ガイダンス。5/22 資料検索講習会 (6/23まで38回開催)。6/12 玄関ホール展示用ケース納品。7/30 オープンキャンパス図書館見学, 130名来館。9/25 図書館利用者アンケート (学部学生向け) 調査実施 (10/17まで)。1/10 雑誌書架状況調査 (1/15まで)。1/11 西生田学生自治会からの要望書受理 (2/13に回答)。2/13 附属中学校3年生, 選択授業の一環で西生田図書館見学。2/20 蔵書点検 (和1, 8, 9門, 和大型本, 洋参考図書, 2/27まで)。</p>
<p><b>2007 (平成19)年度</b> 開館日数：242日 入館者数：44,193人</p>	<p>4/4 開館, 貸出開始。4/4 玄関ホール展示「カンタベリー物語エルズミア写本 (ファクシミリ版)」(6/19まで)。4/5 新入生オリエンテーション (スライド上映)。4/6 新入生オリエンテーション (西生田図書館案内)。4/7 新入生オリエンテーション (図書館長の話：西山館長)。5/28 資料検索講習会 (7/10まで58回開催)。6/11 神奈川県立麻生養護学校職場実習受入 (6/22まで)。5/25 心理学科資料検索ガイダンス (以後, 心理学科1回, 現代社会学科1回)。7/29 オープンキャンパス図書館見学, 203名来館。8/1 キャンパス見学ウィーク (8/3まで, 来館者237名)。8/25 1階, 3階, 5階書架増設工事 (8/26まで)。10/23 「学生が読みたい本」募集開始 (11/10まで), 以後年2回募集。2/8 附属中学校生2名, 職業体験受入。2/20 蔵書点検 (和0, 2門, 洋5~9門, 洋大型本, 和参考図書, 2/27まで)。3/12 メディアセンターPC設置のための館内ネットワーク設定作業。3/20 人間社会学部長より「図書館での授業テキスト閲覧について」検討依頼文書受領 (3/28に回答)。</p>
<p><b>2008 (平成20)年度</b> 開館日数：245日 入館者数：50,684人</p>	<p>4/1 新図書館長, 田中功教授就任。4/3 開館, 貸出開始。4/3 玄関ホール展示「絵巻でお花見」(5/17まで)。4/4 新入生オリエンテーション (スライド上映館内案内)。4/7 新入生オリエンテーション (図書館長の話：田中館長)。4/7 館内での前期外国語授業テキスト閲覧開始 (4/19まで)。4/10 社会福祉学科1年生対象資料検索ガイダンス (以後, 心理学科2回, 現代社会学科3回)。4/30 新規受入図書のポスター, 各学科に配布開始。5/7 メディアセンターPC (4台) ブラウジングコーナーで稼働開始。5/27 資料検索講習会 (7/16まで37回開催)。6/10 玄関ホール展示「創立者成瀬仁蔵先生 主要著作と参考文献」(8/29まで)。7/18 西生田学生自治会より要望書受理 (9/25回答)。8/2 オープンキャンパス図書館見学, 162名来館。8/4 西生田カウンセリングセンター蔵書点検 (8/6まで)。8/6 2階参考図書コーナーで漏水。8/8 キャンパス見学会 (8/10まで) のべ406名来館。9/25 大学院生の貸出冊数を10冊から20冊に拡大。10/1 Web上での利用状況照会サービス開始。1/10 玄関ホール展示「21世紀のノーベル文学賞受賞者」(2/18まで)。2/19 蔵書点検 (和4, 7門, 洋0~4門, 洋参考図書, 2/26まで)。</p>
<p><b>2009 (平成21)年度</b> 開館日数：246日 入館者数：52,504人</p>	<p>4/2 開館, 貸出開始。4/2 玄関ホール展示「西生田の森へようこそ」(5/30まで)。4/3 新入生オリエンテーション (スライド上映, 館内案内, 録画ビデオによる図書館長の話：田中館長)。4/16 教育学科資料検索ガイダンス (以後, 心理学科3回, 文化学科1回, 現代社会学科3回, 大学院現代社会論専攻1回, 教育学科6回, 社会福祉学科1年生対象1回)。6/1 資料検索講習会 (7/8まで)。7/20 附属中学校生2名, 職業体験受入 (7/21まで)。8/2 オープンキャンパス図書館見学, 185名来館。8/8 キャンパス見学会 (8/9まで) のべ265名来館。8/15 3階大型本書架増設工事。10/1 丸善株式会社に閲覧カウンター業務を委託。11/2 学習院大学との相互利用協定運用開始。11/5 西生田学生自治会より, 学生総会前のアンケートについて回答依頼を受理 (11/17に回答)。11/18 図書館運営委員会からの意見により, 蔵書点検実施に関わるアンケートを他大学に送付。12/1 AVコーナーのビデオデッキ1台廃棄, DVDデッキを設置。1/20 グループ研究室窓にブラインドを設置。1/30 中庭工事のため, 図書館正面入口を封鎖, 返却ポストを研究棟側に移動。2/19 蔵書点検 (和書5~9門, 和書大型本, 和参考図書, 2/25まで)。3/30 1階電動式集密書架周辺で漏水。</p>
<p><b>2010 (平成22)年度</b> 開館日数：267日 (予定)</p>	<p>4/1 新図書館長, 島崎恒藏教授就任。4/2 開館, 貸出開始。開館時間を変更 (授業のある期間月~金：9:00~20:00, 土：9:00~18:00)。4/2 玄関ホール展示「人間社会学部開設20周年記念 開設の頃を振り返る その1」(5/31まで)。4/3 新入生オリエンテーション (スライド上映, 館内案内, 図書館長の話：島崎館長)。4/15 教育学科ガイダンス (以後, 心理学科2回, 教育学科4回, 現代社会学科1回, 社会福祉学科1年生対象1回, 大学院教育学専攻1回)。4/17 1階天井より漏水 (電動式集密書架付近)。5/24 入口付近工事完了, 正面入口の利用再開。5/24 資料検索講習会 (7/21まで, 39回開催)。6/10 2011年度からの新図書館システム (富士通 iLiswave-J) キックオフミーティング。7/28 附属中学校生2名, 職業体験受入。8/1 オープンキャンパス図書館見学, 175名来館。8/6 蔵書点検 (和書3門, 8/17まで)。8/7 オープンキャンパス図書館見学, 178名来館。8/9 中庭渡り廊下工事, 外壁改装工事のため正面入口と搬入口封鎖 (9/15まで)。9/13 OPAC用PC更改。</p>

付記 「図書館年次報告」等を参考にして略年表を作成した。 (西生田図書館課長 濱口都紀)

## 平成22年度夏期スクーリング開館について

今年の夏期スクーリングは1898年からの気象統計開始以来113年間で最も厳しい暑さの夏、異常気象といわれた猛暑の中で行われました。スクーリング生の皆様、本当にご苦労さまでした。

今年度の図書館の大きな変更は開館時間の延長です。昨年は月－金10:00－19:00（土10:00－18:00）でしたが、今年から月－金8:45－19:00（土8:45－18:00）となり、1時間15分開館延長、1階・5階の雑誌フロアの開室時間も昨年は月－金10:10－17:50（土10:10－16:50）でしたが、今年度は月－金9:00－18:50（土9:00－17:50）と2時間10分延長となりました。参考デスクも例年8月のお盆の時期は閉めていま

したが、今年度は夏期スクーリングの期間を通して開き、月－金は10:00－15:00（11:30－12:30閉）、土は12:00－15:00に質問を受け付けました。授業開始前の9時前に来館する方や午前中の登録者が増え、昼休み等への利用の集中が減りました。1日に複数回入館する方が多く、受講者数が減っているのに昨年より来館者数が増えているのも、この開館時間の延長によるものと思われます。

夏期スクーリング開館の利用状況

年度	22	21	20
開館日数	24	24	24
入館者数	5,902	5,459	5,537
1日平均	246	228	231
最高	298	305	409
最低	184	173	132
受講者数	1,222	1,435	1,542
登録者数	543	570	695
1日平均	23	24	29
貸出冊数	1,812	1,895	2,355
1人当たり	4	4	4
1日平均	76	79	99
最高	141	145	209
最低	43	50	50
貸出日数	24	24	24
複写枚数	15,501	18,999	20,764
1日平均	646	792	866
一般学生・教職員 その他の貸出	1,492	1,651	1,299
1日平均	63	69	55

**編集後記** 今号は西生田図書館開館20周年を記念した特集号。開設時を知る先生方からは、今後に向けた貴重なメッセージを頂いた。略年表は10周年時に作成した年表（『図書館だより』No.109（2000.11.25）に掲載）の続編である。9月下旬、西生田図書館のある九十年館A棟とB棟との間に渡り廊下が完成。巻頭写真は正面玄関の新たな景観である。鈴木学館員撮影。21年目を歩む西生田図書館を一層ご活用いただきたい。

平成22年度図書館だより編集委員：中曽根緑，大沼真美，中澤恵子，鈴木学（中曽根）



スクーリング登録風景

ロッカー室に設けた飲み物を飲める休憩スペースも、今年の猛暑では水分補給の必要なことが多かったせいか、建物外に出る時間も惜しいスクーリング生に有効にご利用いただけたようでありました。

通常期の図書館の開館時間も2010年4月より月－金21:00（土18:00）まで延長いたしました。既に、夜間スクーリング、土曜スクーリング等が始まっていますが、引き続き図書館をご利用いただきたいと思っております。

（館員・閲覧係 中澤啓子）

参考係利用状況（質問処理件数）

年度（日数）	22(24)	21(21)	20(17)
一般学生・教職員	30	55	35
スクーリング生・その他	40	46	35
合計	70	101	70
1日平均	2.9	4.8	4.2